



食品ロス削減への意識向上を促す学校教育モデルの構築と提案

高木, 遥琉

(Citation)

課題研究優秀ポスター, 2026:28

(Issue Date)

2026

(Resource Type)

conference poster

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100505007>



食品ロス削減への意識向上を促す学校教育 モデルの構築と提案



キーワード：食品ロス 教育 フードドライブ

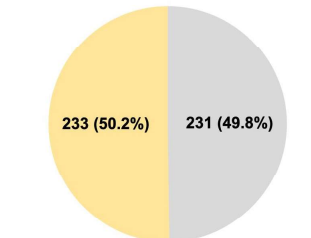
神戸大学附属中等教育学校 6年1組18番 高木遥琉

導入

【食品ロス問題の現状と解決の必要性】

● 事業系食品ロス ● 家庭系食品ロス

- ・年間約464万t / 1人当たり37kg
- うち家庭系ロスは全体の**半分以上**
- ・消費者である私たちに身近な課題



令和5年度 年間食品ロス量(単位:万t)
出典 農林水産省「食品ロスとは」

<悪影響>

生産→製造→配送→販売

- ① 環境問題 フードサプライチェーン、焼却
- ② 食料不均衡 飢餓と飽食 相対的貧困
- ③ 経済的損失 食料自給率、家計の負担

目的

【解決方法】

食品ロス



教育

「**教育**」の視点から解決を目指す新たなアプローチを提案

- ・人の意識を変え、長期的・根本的な持続性のある解決に貢献
- ・当事者としての研究の独自性

先行研究

「食品ロスに対する教育」をテーマとした先行研究の課題を分析

先行研究1	先行研究2	先行研究3
座学の授業による一定の意識向上 西ら(2023)	日本の家庭科授業改善の提案 西川ら(2011)	自分ができる取り組みに関する調査 古谷ら(2020)
課題:今後の行動変化や長期的な効果が不明瞭→より 能動的な教育 が必要	課題:時間数の制限、学校間差が生じる 懸念→多くの学校での 実現可能性	課題:フードバンク…多くの生徒が興味を持ったが行動に移せない→ 身近さ

仮説：フードドライブ活動を学校で実施→主体性な学びを実現、生徒の食品ロス削減意識を育む

インタビュー調査

市が先導して活動を実施

概要

【対象】神戸市環境局資源循環課 担当職員
【主な質問】企業におけるフードドライブ活動の実態、課題点、その他の教育内容のアイデア

結果

神戸市における回収量増加の要因

- ① 手軽な社会貢献
低コスト 労力×
- ② 1店舗での成功例
モデルとなり多数展開

今後の課題：広報のジレンマ…負担と回収量の塩梅

- ①学校現場で実現可能、社会貢献活動による生徒の**自己有用感**醸成→意識向上に繋がり教育効果が期待
- ②学校は全国各地に点在→回収量拡大、地域の**負担**を分散…持続的で社会に有益

<小学生向けの主体的な基礎的教育活動>

家庭・学校給食の廃棄といった**身近**なロスの理解を深め、問題意識を波及



「食品ロスダイアリーアプリ」実践

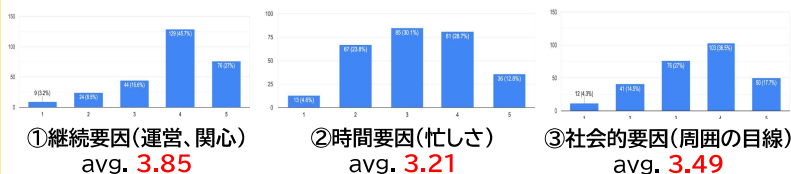
アンケート調査

概要

【対象】神戸大学附属中等教育学校 生徒282名
【目的】学校現場独自の実施における障壁とその解決策について生徒視点での意見を収集、実現可能性を検討

結果

A.実施の障壁 (1…問題にならない 5…重大な障壁になる)



時間不足<長期的な関心の持続・参加しにくさ **心理的要因**

B.解決策 選択式・円グラフで集計+自由記述

①頻度

「年二回(33.7%)」
「年四回(29.8%)」
約**6割**以上の生徒が
学期に1~2回程度が
妥当だと考えている

②運営体制

委員会活動(30.1%)
授業と連動(29.8%)
有志ではなく**既存の枠組み**の中に取り入れて運営を安定化

③実施時期

校内行事(35.5%)
行事の熱量を利用して心理的負担を抑制
三者懇談・授業参観
→負担軽減・会話促進

提案

- ・小学校課程 【正しい知識とともに家庭で主体的に食品ロス削減を実践する教育の導入】
身近な食品ロスについて学び、学習を踏まえて家庭内でアプリを利用した削減活動を実践する。
- ・中学校・高校課程 【学校の既存システムを利用した、生徒参画型フードドライブ活動の導入】
全生徒が寄付に参加でき、行事等と連動した組織的な運営プロジェクトを校内に構築する。

主要参考文献

- [1] 農林水産省「食品ロスとは」https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/161227_4.html
- [2] 外務省「JAPAN SDGs Action Platform」<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/statistics/goal12.html>
- [3] 西太郎, 上田由喜子, 早見直美「食品ロス削減に着目した食教育プログラムの有効性」『栄養学雑誌』, 81(4), 153-163 (2023).
- [4] 西川可穂子, 藤原葉子, 富永典子「食品ロス教育を家庭科教育で」『日本家政学会誌』, 62(5), 299-307(2011).
- [5] 古谷成司, 関谷神吾, 瀬尾悠太「食品ロス削減に関する授業プログラムの開発」『授業実践開発研究』, 13, 103-112 (2020).
- [6] 神戸市「家庭で余っている食品でできる支援・寄付(フードドライブ)」<https://www.city.kobe.lg.jp/a25748/kurashi/recycle/gomi/genryo/namagomi/namagomi/fooddrive/index.html>
- [7] 食品ロスダイアリー「食品ロスダイアリー」NPO法人こみじやばん食品ロス削減チーム<https://gomi-ip-foodloss.com/>
- [8] 文部科学省「子どもたちの未来を育む豊かな体験活動の充実」https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hoab201701/1389013_007.pdf

2026年3月提出